

韓国ユネスコ大邱協会・青少年訪問団が来広

中高生が親善交流

【宮島訪問、韓国人慰霊碑献花、干潟体験 さとうみ科学館見学、姉妹提携調印式】



韓国ユネスコ大邱協会および大邱広域市青少年の訪問団34名(中高生18名)が11月10日(金)～13日(月)の3泊4日の日程で来広され、広島ユネスコ協会と友好親善交流を行いました。

11月10日(金)広島着・宿泊。11月11日(土)、一行は午前中、宮島を散策し、午後から広島市青少年と広島平和公園で合流し、韓国人原爆犠牲者慰霊碑に献花。その後、記念碑などを回りながら、意見交換を行いました。この時期に日韓の青少年が「平和を築くために、何ができるか」を、ともに考えることの意義は大きいと考えます。

11月12日(日)バスで呉市・下蒲刈町の朝鮮通信使資料館御馳走一番館へ。見学後、大柿自然環境体験学習交流館(さとうみ科学館)で大柿高校生徒と合流し、江田島釣附海岸で干潟体験を通して友好親善を深めました。海に面していない大邱広域市の青少年が、豊かな自然の瀬戸内海の生物に出会い、ともに環境について考える機会になったことでしょうか。ここでは水槽で飼育されている魚やカニ、カブトガニなどの飼育・展示を見学し自然の大切さや海の生態系などについて学びました。広島市への帰りは高速船で、宇品港へ。

夜は広島ユ協と韓国ユネスコ大邱協会の「第7次姉妹協会提携調印式」と「歓送迎会」に参加しました。そして翌13日(月)の午前、帰国前に駐広島大韓民国総領事館を表敬訪問し、午後、広島駅でお別れ会をして新幹線博多行きで帰国の途につきました。(国際部会長 政木恵美子)

平和公園にて韓国人慰靈碑参拝・青少年交流



干潟体験



調印式



交流会





韓国ユネスコ大邱協会のみなさまありがとうございました。
これからもどうぞよろしくお願いたします。